



News Letter



VOL.14
2020年11月号



2020年度

女性およびライフイベント（育児）中の研究者支援の取り組み

2020年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ研究助成金 採択者

氏名	所属	研究課題名	助成金額
長田 洋資 助教	小児科学	エアロゾル拡散の観点からみた高流量鼻カニュラ酸素療法・非侵襲的人工呼吸療法の安全性にかかる研究	40万円
久慈 志保 講師	産婦人科学(婦人科)	婦人科悪性腫瘍、high grade neuroendocrine carcinomaの病態と病理学的・分子生物学的分析	30万円
塚原 千広 助教	眼科学	緑内障性視神経症におけるNFATcの役割	30万円

2020年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ表彰(学術分野) 受賞者

氏名	所属	掲載雑誌	論文表題
本間 瑤子 助教	小児科学	Allergology International 2019;69:239-245.	Component-resolved diagnostics can be useful for identifying hazelnut allergy in Japanese children.
高桑 由希子 講師	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)	Clinical and Experimental Rheumatology 2019;37 Suppl 121:23-27.	Adult-onset Still's disease-associated interstitial lung disease represents severe phenotype of the disease with higher rate of haemophagocytic syndrome and relapse.
割澤 高行 助教	内科学(循環器内科)	Circulation: Cardiovascular Interventions 2019;12:e007494.	Physiological pattern of disease assessed by pressure-wire pullback has an influence on fractional flow reserve/instantaneous wave-free ratio discordance insights from the multicenter AJIP registry.

2018年度より、女性およびライフイベント中(小学校3年生までのお子さんの子育て中)の研究者に対して、以下の研究・論文作成支援と研究マインド向上の取り組みを行っています。

- ①ダイバーシティ研究助成金(1件当たり50万円上限)
- ②ダイバーシティ英語論文作成費助成制度(1論文あたり5万円上限)
- ③ダイバーシティ表彰(学術分野)〔賞状と副賞(5万円)授与〕

本年度の①の採択者、③の受賞者は上記のとおりとなります。皆さま、おめでとうございます。なお、②については現在も受付をしております。

いずれの制度も、女性だけではなく子育てをしている男性も支援及び表彰の対象としていることが特徴です。これらの制度が、本学教職員における医師、研究者としてのキャリアアップの一助となることを期待しております。

ダイバーシティ:性別やライフスタイル等に関わり無く、多様な個性が力を発揮することにより、組織として最大限の能力を発揮しようという考え方。

2020年度ダイバーシティ表彰(学術分野)授賞式 2020年10月21日(水)

2020年10月21日(金)病院別館8階臨床講堂にて授賞式が執り行われました。学長より、2020年度ダイバーシティ表彰(学術分野)受賞者である本間助教、高桑講師、割澤助教へ表彰状と副賞(5万円)が授与され、その後、受賞者3名よりご挨拶をいただきました。受賞者皆様のさらなるご活躍をお祈りいたします。

後列:左から 小児科 清水教授、同 本間助教、循環器内科 割澤助教、リウマチ・膠原病アレルギー内科 高桑講師、同 川畑教授
前列:左から 高田女性医師研究者支援部長、加藤医学部長、北川学長、伊野副センター長、明石副センター長



大学院キャリア教育 2019年12月14日(土)、2020年12月12日(土)

大学院総合教育科目IIIの講義では、鈴木(黒川)真奈絵指導教授(女性医師・研究者支援部会員)が「研究者としての生涯構想」を担当しております。

講義では、医師のキャリア形成のタイムコースとその中の大学院の位置づけについて、医師が研究に携わる利点、どのようにして生涯研究を続けていくか等についてお話があった後、医師歴20～30年で実際に研究を継続しているロールモデルが数例紹介されます。その後、各大学院生より、1. 大学院卒業後、どんな研究をしたいか、2. 研究のため留学する場合、1) どの大学・研究機関に留学し、2) どんな研究をしたいか、3. 留学後、生涯に渡り、1) どのようなスタイルで、2) どんな研究をしていきたいか、について、短時間での発表やレポートによる報告がされています。

出席した大学院生の皆さんは、各自の希望・方向性を元に明確な計画を打ち出しており、聖マリアンナ医科大学大学院から若い研究者が次々と巣立っていくのが非常に楽しみにな内容となっています。本年度は、12月12日(土)にオンライン講義として予定されています。



オールマリアンナ ナレッジフェア講演会 〔共催講演〕 2020年2月19日(水)

日時:2020年2月19日(月)18:00～
演者:神経精神科学特任教授 小野和哉先生
演題:自閉症スペクトラム障害(ASD)の理解と対応
場所:病院本館3階 大講堂
主催:総合教育センター
共催:医学部FD委員会・大学院・看護専門学校・臨床研修センター・男女共同参画キャリア支援センター・職員教育研修委員会・学年担当委員会・学生相談室

2019年度ダイバーシティ研究助成金の研究成果の発表について

2020年11月26日(木)～12月2日(水)(予定)の期間、医学会学術集会にて2019年度ダイバーシティ研究助成金採択者2名の講演がオンラインにて行われますので是非ご覧ください。(医学会学術集会への申込要)

本橋隆子助教 予防医学(健康推進・疫学)

「大規模な多施設患者データを用いた急性期リハビリテーションの質に対する診療報酬制度と医療提供体制の影響評価」

藤原清悦講師 生理学(統合生理)

「小脳はいかに社会性行動に関与するか? ー小脳の非運動性機能の研究」

保育・介護お悩み相談会 2020年9月～10月

昨年度に引き続き、保育・介護に関する個別相談会を開催しました。当センターでは、保育・介護支援部会を設置しており、保育・介護の面からもキャリア支援を行っておりますので、今回の相談会に限らず、お悩み事がありましたお気軽に当センターへご連絡ください。保育や介護の経験者の話や利用できる制度など役に立つ情報が得られるかもしれません。尚、ご相談いただきました個人情報につきましては保護いたします。また、「保育・介護支援ガイド」を7月に改訂し、各所属に配布しておりますので是非ご活用ください。



●男女共同参画キャリア支援センター●

電話044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp